



ASAGO

朝来市議会

議会だより

第78号

2021(令和3)年11月5日発行



■ 第23回(9月)定例会

決算認定／決算審査意見／補正予算	2～5
議案審議／賛否の状況	6～8
意見書発議／調査報告	9～11
市政を問う（一般質問）	12～17
日程（12月定例会）ほか	18

立雲峡に新しく
展望テラスが完成

コロナ禍の 2年度決算を認定

議会が厳格に審査



令和2年度の一般会計決算額は、歳入253億3,009万円、歳出242億6,802万円、差引き10億6,207万円となり、翌年度への繰越財源2億7,850万円を差引いた7億8,357万円が実質的な黒字となりました。

また、国民健康保険、介護保険など特別会計及び企業会計決算は、全ての会計において黒字、もしくは均衡した決算となりました。

決算について、最終日に予算決算特別委員長が審査結果を報告し、一般会計及び後期高齢者医療特別会計については賛成多数、その他の会計は全会一致で認定しました。

9月議会定例会が、8月31日から9月29日まで30日間の会期で開かれ、条例制定、各種計画の策定、令和3年度補正予算、令和2年度一般会計、特別会計及び企業会計決算の認定等が提案され、それぞれ委員会に付託し審査を行いました。

問 路線バスの乗車密度が非常に低い地域がある。
答 路線バスを取り巻く環境は非常に厳しいが、日常生活で利用する市民がいる限り、公共交通手段の確保、福祉の向上という観点から赤字路線の経常損失を補填しバス路線を維持することは必要な施策だ。

問 全職員が執行機関で起きている問題等を認識すべきだ。
答 条例違反等に関するコンプライアンスについては、部長会議等で周知し再発防止に努めている。今後は職員の業務用パソコンに掲示する等、さらなる注意喚起に取り組んでいきたい。

問 消防団組織の実人員は、区域内人口と対象建築物件数から算出すべきではないか。
答 消防団活動は住宅火災のみならず台風等の災害対応も行なっているため、人口や住宅戸数のみではなく、担当区域内の面積等も考慮しなければ、消防団活動に支障をきたすと考える。

問 小型特殊自動車の課税は適正になされているか。
答 小型特殊自動車は、公道走行の有無に関わらず申告の義務があり、申告のあつたものについてはすべて適切に課税している。未申告の車体数については把握しかねるが、ホームページや広報、確定申告相談や農事部長会等、様々な機会をとらえて周知を行なっている。

問 老朽化したアコバスの更新計画を立てているか。
答 その都度、車両の状況を見ながら検討している。



- 問** 県が実施、推進しているひょうご防災リーダーを養成する講座の周知が必要ではないか。
- 答** 自主防災リーダー育成事業のPRと併せ、受講案内を行なつていきたい。
- 問** トイレのない消防機庫への対応は。
- 答** トイレのない消防機庫については、老朽化している機庫もあり、トイレの設置のみならず、機庫の新築や改築を検討していきたい。
- 問** 移住して農業研修制度を利用することは、親方農家だけなく地域等にも深く関わる仕組みが必要ではないか。
- 答** 制度を利用されている新規就農研修生は、卒業・独立した先輩たちとのネットワークや親方農家、地域の方との連携も深まっている。農家のグループ化にも関わっており、地域と繋がる農業者を増やしていきたい。
- 問** ヒトパピローマウイルスクチン（子宮頸がん予防）の接種勧奨への対応は。
- 答** 医師会とも相談し昨年10月から、市内の12歳から中学3年



※ヤングケアラーとは、大人が担うと想定されている家事や介護などを行なっている18歳未満の子どものことをいう

- 問** 予防接種データのデジタル化は進んでいるか。
- 答** 母子健康手帳等を紛失された方からの問合せに対応できるよう、平成9年4月以降に生まれた方の予防接種記録は、健康管理システムで全て電子データ化し管理している。
- 問** 市はヤングケアラーの実態を把握しているか。
- 答** 早期発見、早期支援を行うため、毎月、関係機関と情報共有を行なっているが、現在、把握対応しているケースはない。
- 問** ふるさと寄附金をさらに増やすための取組は。
- 答** 今年度からはポータルサイトを更に1社増やして5社にし、充実を図っている。今後、クラウドファンディングも検討し、リピーターの増加につなげたい。
- 問** 市民が他市へふるさと寄附された額は。
- 答** 約4,800万円で、圧倒的にいただく寄附のほうが多い。



- 問** ふるさと寄附金の使途事業として但馬空港利用促進事業が含まれていない。
- 答** 本市寄附者への特典として空港利用助成制度の利用が可能だが、これは寄附の返礼ではなく空港利用の促進や地域への人材還流を生み出すためのものであり、寄附金を財源充当することはすぐわないと考えている。
- 問** ふるさと寄附金をさらに増やすための取組は。
- 答** 国は今年度、マイナンバーカードを健康保険証として利用する仕組みを本格運用しようとしたが、すでに半年遅れている。マイナンバーはプライバシーを危険にさらすという認識を持つて、慎重な対応を求めたい。
- 足立議員 賛成討論**
- 厳しい人口減少社会において、財政の健全化確保に努力し一定の前進・成果があつたと評価する。但馬空港は、但馬地域の活性化に寄与し当市のイメージアップにも繋がつており、災害時には防災基地としての一面も有している。デジタル社会の時流に乗り遅れることなく市が発展するためにも、マイナンバーカードの取得率向上に向けて、今後も積極的に取り組むべきだ。

鈴木議員

反対討論

予算決算特別委員会審査報告

令和3年度補正予算、令和2年度各会計決算の審査を付託された予算決算特別委員会（分科会方式）は、議長を除く14人の議員で構成し、延べ7日間にわたり慎重に審査を行いました。

令和2年度一般会計決算にかかる審査意見を紹介します。

至ったケースはないとのことであるが、すべての相談者が早期に生活困窮の状態から脱却、自立できるよう、なお一層の支援に取り組まれたい。

小水力発電整備事業

本年夏の供用開始に向け、令和2年度から建設工事を進めてきた生野マイクロ水力発電所について、本年7月末に設置工事が完了したものの、現在、設計時に想定していた流量が確保されず、発電を見送っているとのことであった。早急に原因を究明し、確実な供用開始に向け、努められたい。



▲供用開始を待つ
生野マイクロ水力発電所

滞納未収金について

各種市税をはじめ、利用料等を含む多額の滞納未収金の解消に向け、督促状の送付や電話催告、差押えなど、コロナ禍により訪問徴収が困難な中、大変苦慮しながら対応に当たっていることは評価できる。今後も、収納率向上を目指し、滞納未収金の整理に努められたい。

その他全般

- 行政マネジメントシートの記載内容について、若干の改善はみられるが、今後も努力されたい。
- 災害時の避難所について、二次避難所も活用し、災害種類別に市民が避難できるよう改善されたい。また、そのための避難所の案内板の整備を早急に進められたい。避難所の運営に当たっては、感染症対策等を十分に施し、安全に配慮し適切に運営されたい。



▲防災ガイド・ハザードマップの有効活用を

- 地区の防災計画策定が進められているが、多くの市民が参加し、実効性のある計画になるよう支援されたい。
- 固定資産税等の誤課税及び返還については、国民健康保険税に波及したものもあり、再計算のうち返還がなされたものの、本来はあつてはならない事案である。今後、課税事務にはより慎重かつ適切な対応をされたい。

- 生活困窮者自立支援事業**
- 対応している相談には、新型コロナウィルス感染症の影響によると思われる内容も見られ、相談人数も年々増加している。あらゆる社会資源や手段を活用して対応に当たり、生活保護に

- 路線バス確保対策事業**
- 引き続き市民要望に応えて、路線、ダイヤ等の利便性改善に努められたい。

- 鉄道利便性向上事業**
- より利用促進につながるよう、団体利用の施策について早急に改善されたい。

- 生活困窮者自立支援事業**
- 対応している相談には、新型コロナウィルス感染症の影響によると思われる内容も見られ、相談人数も年々増加している。あらゆる社会資源や手段を活用して対応に当たり、生活保護に

宅地開発事業特別会計決算の認定に対する委員会の審査意見



▲早期売却の検討が必要な分譲地

未売却区画については、販売価格の見直しも含め、早期に処分できるよう方法を検討されたい。

また、本事業は特別会計で運営されているが、現在の繰越金の内容、団地ごと及び本事業全体の収支等が総括的にわかるよう、一般会計との繰入金、繰出金の経緯等も含め整理し、特別会計として収支状況等が明瞭となるよう運営されたい。

多くの高齢者は年金収入で生活しているにも関わらず、年金額は減り続け、消費税の増税など負担が増えている中、高齢者の負担増は生活に大きな影響を与えることになる。

高齢者の保険料負担を軽減し、医療を受けやすくなることを求め、反対する。

後期高齢者医療保険料は2年ごとに改定され引き上げられたことにより、被保険者の負担が増えた。

令和3年度一般会計の補正予算（第5号、6号）は、現計予算額に2億5,980万円を増額し、総額202億9,560万円とするもの。予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。

令和3年度一般会計の補正予算（第1号）は、前年度保険給付費等交付金の確定に伴う返還金の追加、新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる被保険者等に係る保険料の減免に伴う財源更正をしようとするもの。予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。

後期高齢者医療特別会計決算の認定について

一般会計補正予算

国民健康保険特別会計 補正予算



補正の主な内容

庁舎整備事業(山東支所) (山東庁舎用地取得費の追加)	1,158万円
ヒメハナ公園整備事業 (各種遊具及びトイレを改修するための工事費の追加)	520万円
小中学校教育振興事業 (市内小中学校におけるネットワーク回線の増設費の追加)	628万円
災害復旧支援事業 (令和3年8月13日からの大雨による各行政区が行う災害復旧事業への補助金の追加)	1,250万円

質疑

問 新型コロナウイルス感染症の影響による保険税の減免対応

答 コロナ禍の影響による保険税の減免は昨年度から行なつたが、令和3年度当初予算編成時には減免制度を引き続き実施するかどうか確定しておらず、今回改めて補正を行うもの。昨年は国から直接補助金が入ったが、今年度は全額県から入つてきるため、対応する科目が異なる

国民健康保険特別会計 補正予算

補正予算

令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は、前年度保険給付費等交付金の確定に伴う返還金の追加、新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる被保険者等に係る保険税の減免に伴う財源更正をしようとするもの。予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。

令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第1号）は、前年度保険給付費等交付金の確定に伴う返還金の追加、新型コロナウイルス感染症の影響により収入の減少が見込まれる被保険者等に係る保険税の減免に伴う財源更正をしようとするもの。予算決算特別委員会で審査し、全会一致で可決しました。

第3次総合計画の策定

令和4年度から令和11年度までを計画期間とする、第3次朝来市総合計画を策定し、議会の議決を求めるもの。

総合計画審査特別委員会で審査し、賛成多数で原案のとおり可決しました。

質疑

市の最上位計画と位置付けられている総合計画と各種行政委員会との関係性は。

答 総合計画は教育分野も含めて市政全般、すべての基本的な方向性を示すものであり抽象的な記載をしている。教育振興基本計画は総合計画における教育に関する個別計画の一つであり、具体的な教育の進め方については教育振興基本計画にのつとつて進めていくものである。

問 総合計画のすべての主体が市民となっているが。

答 第3次総合計画の策定は、市民との対話を重視し、市民とともにまちをより良くしたいという参画と協働の観点から進め

ている。あさご未来会議や総合計画審議会で出た、市民からの意見を取り入れ計画を策定することに重点を置いた。行政のみで策定したものではない。

問 総合計画の推進に市民を巻き込むには、市民が主体であることを理解される必要がある。

答 11月にあさご未来会議、12月には地域ごとのまちづくりフォーラム、ふれあいトークなどを開催し、計画内容の周知を図る予定。内部では職員研修を実施し、市民の理解を得られるよう政策を進めていきたい。行政がしっかりとリーダーシップを發揮しながら、市民とともに進めていく計画にしていかなければならぬと考えている。

反対討論

鈴木議員

多くの問題が指摘されている県の医療構想を前提に進めようとする市の医療体制、但馬空港

施設、窓口業務の廃止や縮小を含むスマート自治体施策等、納得できない、また内容が危惧される施策があり、反対する。

賛成討論

西本議員

持続的なまちづくりに向けて市民と共に新しい活力と魅力を創造するため必要不可欠なものであり、市の未来へ向けた市政運営の根幹をなすものである。

藤本議員

あさご未来会議、総合計画審議会での市民の声や、市議会の提言も反映され、オール朝来市で作り上げた優れた計画である。

委員会の審査意見

総合的かつ計画的な市政運営を進めるための、まちづくりの指針となるものであり、その目的を達成するためには、市民と協働して進めていく必要がある。本計画を市民に広く周知されたい。

「人と人がつながり 幸せが循環するまち」の実現に向け、実施計画を強力に推進されたい。

委員会の審査意見

解散に伴い分配される設立基金について、目的を明確にした活用策を検討されたい。併せて、特定目的基金の創設も含めて検討されたい。

兵庫県市町交通災害共済組合の解散に伴う財産処分

令和4年3月31日限り兵庫県市町交通災害共済組合を解散することに伴う財産処分について協議するため、議会の議決を求めるもの。

総務常任委員会で審査し、全会一致で原案のとおり可決しました。

解散に伴い分配される設立基金について、目的を明確にした活用策を検討されたい。併せて、特定目的基金の創設も含めて検討されたい。



質疑

財産処分にかかる分配金の原資は。

答 すべて交通災害共済組合会員の掛け金である。

問 その使い道として、交通災害防止の施策を展開しては。

答 担当課で慎重に検討していく。

委員会の審査意見

解散に伴い分配される設立基金について、目的を明確にした活用策を検討されたい。併せて、特定目的基金の創設も含めて検討されたい。

財産の取得（追認）

市内消防団の消防車両で、20年以上が経過し老朽化により更新が必要となつた車両について、平成30年以降に購入した3台分の契約を有効とするため、朝来市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定に基づき、改めて議会の議決を求めるもの。

総務常任委員会で審査し、全会一致で原案のとおり可決しました。

経過

条例により、2,000万円以上の動産の買い入れの際には、議会の議決に付さなければならぬと規定されているが、市は、消防ポンプ自動車の購入に際して、議会の議決を得ずに契約を締結していたため、今般、改めて議会の議決を経て契約を有効にしようとするもの。

質疑

過去に同様の事例がないか、確認はしたのか。

答 文書保存年限である過去5年分を遡って調査した結果、6件中、この3件以外は議決されており、同様の事案はなかつた。再発防止に向けての取組は、事務の見直しに係るフロー チャート（業務手順書）を作成し、職員に対しても説明会を実施した。



委員会の審査意見

定例会初日の行政報告の際に、市長より謝罪と経過報告はあつたものの、議案提案の際には、

略称規定等の用字用語及び規則において規定すべき事項の整理を行うため、所要の条例整備をしようとするもの。

産業建設常任委員会で審査し、全会一致で原案のとおり可決しました。

その説明もなされなかつた。そのため、「追認」という通常とは異なる形態の議案提案となつた理由が明らかにされなかつたことは、非常に遺憾である。

事務のマニュアル化、再発防止策等の対応がされ、一定の改善の方向に向かっているが、今後においても、制度の徹底と検証をされたい。

委員会の審査意見

条例第2条第2項においては、「火入れを行おうとする土地」を「火入地」と略称規定することにより、「火入地」の定義を明確にしている。

しかし、本条例においては、規制される「火入れ」の定義が明確になつていない。「火入れ」の定義を明確にするとともに、本条例が規制する行為をしっかりと整理し、住民に周知されたい。

その際、関連する法令等（廃棄物の処理及び清掃に関する法律、火災予防条例等）が規制する類似の行為についても包括的に周知されたい。

火入れに関する条例の一部改正

略称規定等の用字用語及び規則において規定すべき事項の整理を行うため、所要の条例整備をしようとするもの。

条例規定等の用字用語及び規則において規定すべき事項の整理を行うため、所要の条例整備をしようとするもの。

条例第2条第2項においては、「火入れを行おうとする土地」を「火入地」と略称規定することにより、「火入地」の定義を明確にしている。

しかし、本条例においては、規制される「火入れ」の定義が明確になつていない。「火入れ」の定義を明確にするとともに、本条例が規制する行為をしっかりと整理し、住民に周知されたい。

賛否が分かれた議案

議員名	嵯峨山 博	藤本 邦彦	鈴木 逸朗	岡田 和之	足立 義美	藤原 伸	丸尾 正子	吉田 行平	浅田 郁雄	森田 龍司	森下 恒夫	上田 幸広	小山 裕	西本 英輔	渕本 稔
議案名															
第3次朝来市総合計画の策定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度朝来市一般会計決算の認定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
令和2年度朝来市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

賛成した議員は○ 反対した議員は● ※議長には通常、表決権がありません。

全会一致で可決・認定された議案

兵庫県市町交通災害共済組合規約の一部変更について	令和3年度朝来市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について
兵庫県市町交通災害共済組合の解散について	令和3年度朝来市介護保険特別会計補正予算（第1号）について
兵庫県市町交通災害共済組合の解散に伴う財産処分について	令和3年度朝来市水道事業会計補正予算（第2号）について
豊岡市との間において締結した定住自立圏の形成に関する協定書の一部を変更する協定書の締結について	令和3年度朝来市下水道事業会計補正予算（第2号）について
朝来市過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づく固定資産税の課税免除に関する条例制定について	損害賠償の額を定めることについて
朝来市ケーブルテレビシステム施設条例の一部を改正する条例制定について	令和3年度朝来市一般会計補正予算（第6号）について
朝来市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	財産の取得の変更について（追認）
朝来市職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例制定について	朝来市特別職の常勤職員の給与条例の一部を改正する条例制定について
朝来市農林産物加工施設条例及び朝来市野外運動施設条例の一部を改正する等の条例制定について	令和2年度朝来市国民健康保険特別会計決算の認定について
朝来市火入れに関する条例の一部を改正する条例制定について	令和2年度朝来市宅地開発事業特別会計決算の認定について
朝来市旧生野鉱山職員宿舎条例等の一部を改正する条例制定について	令和2年度朝来市休日診療所特別会計決算の認定について
朝来市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	令和2年度朝来市介護保険特別会計決算の認定について
財産の取得について	令和2年度朝来市財産区特別会計決算の認定について
財産の取得について（追認）	令和2年度朝来市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
財産の取得について（追認）	令和2年度朝来市工業用水道事業会計決算の認定について
財産の取得について（追認）	令和2年度朝来市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
朝来市過疎地域持続的発展計画を定めることについて	朝来市議会会議規則の一部を改正する規則制定について
朝来市辺地総合整備計画を変更することについて	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源等の充実を求める意見書の提出について
令和3年度朝来市一般会計補正予算（第5号）について	

委員会発議の意見書提出

9月定例会において、総務常任委員会は「コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源等の充実を求める意見書」を発議し、全会一致で可決しました。

新型コロナウイルス感染症のまん延により、地域経済にも大きな影響が及び、地方財政は来年度においても、引き続き、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。地方自治体では、コロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保、地球温暖化対策などの喫緊の課題に迫られているほか、医療介護、子育てをはじめとした社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められる。

その財源確保のため、地方税制の充実確保が強く望まれる。

以上を踏まえ、朝来市議会は、国において、令和4年度地方税制改正をはじめ、下記事項を確実に実現するよう強く要望するため、関係省庁へ意見書を送付しました。



『コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源等の充実を求める意見書』

要望事項

- 令和4年度以降3年間の地方一般財源総額については、「経済財政運営と改革の基本方針2021」において、令和3年度地方財政計画の水準を下回らないよう実質的に同水準を確保するとされているが、急速な高齢化に伴い社会保障関係経費が毎年度増大している現状を踏まえ、他の地方歳出に不合理なしわ寄せがなされないよう、十分な総額を確保すること。
- 固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは家屋・償却資産を含め、断じて行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、本来国庫補助金などにより国の責任において対応すべきものである。よって、現行の特例措置は今回限りとし、期限の到来をもって確実に終了すること。
- 令和3年度税制改正において土地に係る固定資産税について講じた、課税標準額を令和2年度と同額とする負担調整措置については、令和3年度限りとすること。
- 令和3年度税制改正により講じられた自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減の延長について、更なる延長は断じて行わないこと。
- 炭素に係る税を創設又は拡充する場合には、その一部を地方税又は地方譲与税として地方に税源分配すること。
- 令和3年度分を含め、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を増額措置されること。

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、財務大臣、経済産業大臣
経済再生担当大臣

**テーマを掲げて所管事務
調査に取り組んでいます**

文教民生常任委員会調査報告

【調査概要】

① 子育て支援に関する事項

児童の健全育成、女性の社会参画の促進等、子育て支援に欠かせない施設である学童クラブについて調査を行なった。公立の9施設は、主に小学校の空き教室や旧幼稚園舎、旧保育園跡地などを活用し、その運営については地域のグループに委託している。

② ひきこもりに関する事項

様々な要因の結果として社会参加を回避しおおむね家庭にとどまり続いている状態を指す現象概念であるひきこもりについて調査を行った。市は、ひきこもり対応拠点支援として居場所「いろは」を開設しNPO法人に運営を委託し、個々の状態に応じた対応を行い、一人でも多くの社会参加を実現できるよう、誰もが安心して過ごせる居場所づくりに努めている。



【委員会のまとめ及び意見】

も、教育委員会内での課を越えた連携、学童クラブと小学校との連携も図られたい。

② ひきこもりについては、個々それ原因は異なり、居場所「いろは」の運営をNPO法人に委託することで、それぞれの実

場所によつては老朽化が著しく、雨漏りやドアの故障等、児童にとっては危険な個所も散見される。また、夏休み等、長期休暇中には長時間過ごす生活の場であり、それを踏まえた整備が求められるが不十分な学童クラブも見受けられる。予算が限られていることは承知しているが、施設の修繕に加え机や遊具、本等の備品整備に係る予算の確保に努められたい。

また、いざれの委託先グループも支援員の人材不足が顕著である。さらなる支援員の待遇改善を進めるとともに、人材確保の支援についても検討されたい。

の開設は週2日、午前中のみとのことだが、今後の活動、運営の進展を見据え、委託先への支援のあり方について検討されたい。

【委員会のまとめ及び意見】

「陳情第3号、養父市、朝来市の小売酒販店支援の要望書」について、要望事項に関連する既存の経済支援策について、国、県の支援制度も含め説明を受けた後に質疑を行なった。今後の経済支援策として、国県の動向を注視し、市内事業者アンケート結果等を参考に施策を検討するとの説明を受けた。

産業建設常任委員会調査報告

【調査概要】

「陳情第3号、養父市、朝来市の小売酒販店支援の要望書」について、要望事項に関連する既存の経済支援策について、国、県の支援制度も含め説明を受けた後に質疑を行なった。今後の経済支援策として、国県の動向を注視し、市内事業者アンケート結果等を参考に施策を検討することとする。現在までの経済支援策において、小売酒販店等、業種によっては十分な支援が行き届いていないと考える。今後の施策の検討にあたっては、これまで講じてきた施策やアンケートの結果等を十分に分析した上で検討されたい。また、再度、緊急事態宣言が発出されるなど、今後もさらに厳しい状況が見込まれることから、新型コロナウイルス感染症による市内経済への影響及び対策について、所管事務調査等により今後も継続的に調査を行なっていくこととした。

議会運営委員会調査報告

【調査概要】

令和3年度に実施した高校生議会及び議会報告会について、まとめ及び今後の方向性について調査を行なった。

【調査結果】

(1) 高校生議会に関する事項

議会開催通算100回を記念して、8月5日に高校生議会を開催し、16名の高校生が参加した。後日寄せられた「高校生議会のふりかえり」には、「自分の将来を変化させることができた」と記されている。参加した高校生には、議会や市政に興味を持つてもらい、議場での質問が大変貴重な経験となつたことがうかがえる。議会としての説明責任を果たし、議会や議員の役割を少しでも感じ取つてもらえるよう、議員自身の意見をもとに答弁をしたことで、新鮮で、よい経験になつたといえる。

記念事業として開催したが、当初から一回限りにしない方向で取り組みを進めてきた。学校



▲議会開催100回記念事業の高校生議会

側からの要望もあることから、来年度も改善を加えながら開催することが望まれる。

また、協力意向が得られた市内の県立高校2校の生徒を対象に進めたが、事前の学習や交流の取組も重視する必要がある。

さらに、質問と答弁時間、質問回数、答弁時の質問者の位置等、今回的方法の定着状況を見ながら、慎重に検討も加える必要がある。

高校生からの提案、意見を大切にし、今後の議会、議員活動に生かされることが望まれる。

(2) 議会報告会に関する事項

※令和元年8月の確認事項
①第1部、「議会からの報告」は、議会で議論している一端を紹介し、参加者と意見交換した。

②第1部の報告テーマ設定については、市民と議会の意見交換の場として改善、充実をめざし、この方法を基本的に継承する。

③常任委員会毎に報告テーマを設定し、「議会からの報告」は3通りのテーマで行うこととする。

④会場毎（自治協単位に11会場を予定）に1つの常任委員会のテーマを設定する。報告テーマを担当する常任委員会は、3年で各会場を一巡する。

⑤第2部は、会場毎に要望が出たテーマに基づいた意見交換を行う。第1部のテーマ以外での自由な意見交換とする。

⑥第2部の冒頭に、昨年の議会報告会で出された発言のその後の状況について簡単な報告を行なつた。議会への市民参加を促す上で大切であり、改善を図りながら継続する。

⑦各会場にはそれぞれの常任委員会の委員が発言可能となるよ

うに配置する。なお詳細は今後の議会運営委員会で協議する。

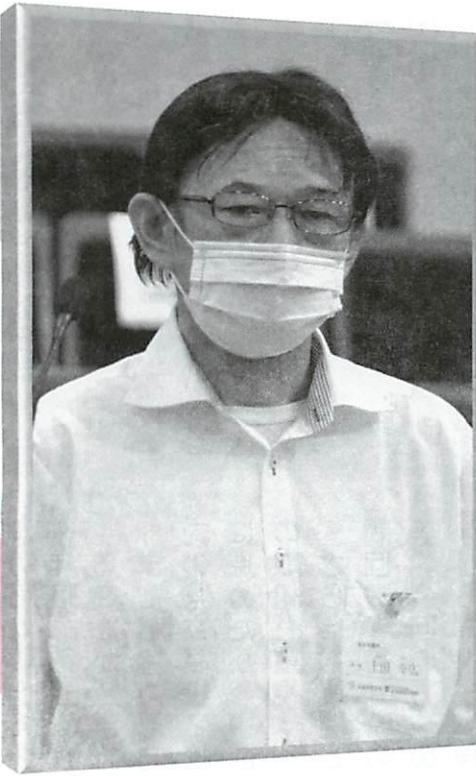
⑧来年度の日程、会場とテーマは、2月上旬に確定し、その後公表する予定で取り組む。

※令和2年度の議会報告会については、新型コロナウィルス感染症拡大抑止の点から、中止。

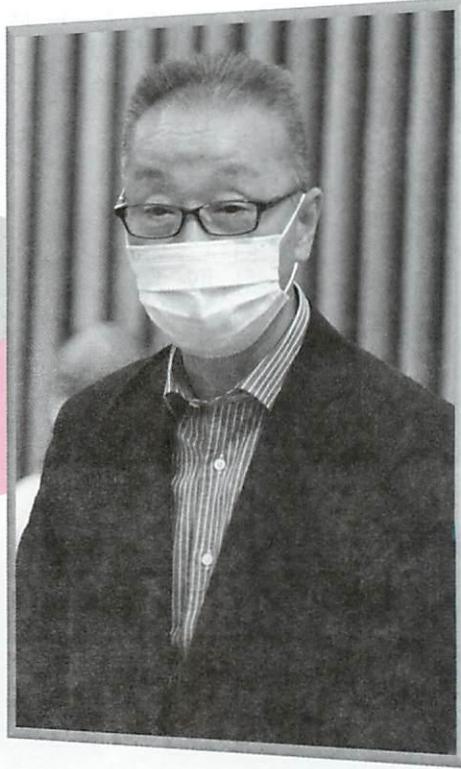
※令和3年度の議会報告会
令和3年度の議会報告会は、上記の方向性に沿つて進めるとしたが、新型コロナウィルス感染症の拡大状況に鑑み、対面式の議会報告会の開催は困難であると判断し、代替案として各常任委員会においてケーブルテレビ用の番組を制作することを同年1月21日の委員会で決定した。

その後、各常任委員会で番組を制作し、同年5月21日から27日にかけて放映を行つた結果、おむね高評価を得た。

今後は、感染状況に留意し、既定の方向性は堅持しつつ、ケーブルテレビを利用した情報發信についても継続していく方向で検討することが望ましい。



市政を聞く



一般質問(個人)では、市長などの執行機関に対して、事務の執行状況や将来の方針等について問い合わせし、また、行政施策に対する提案等も行います。

なお、内容は各議員が560字以内にまとめたもので、質問順に掲載しています。紙面の制約上、質問・答弁とも要約されています。

氏名下のQRコードにより、スマートフォン等で録画映像をご覧いただけます。

問 相続登記がなされていない等で、所有者を特定できない為に着工することが困難なケースは市内にどのくらいあるのか。

答 答相続登記がなされていない箇所は1箇所。

問 答筆界が未定で、土地貸借契約が締結できない箇所は1箇所。

問 答固定資産税納付者と将来的な原状復旧を前提に一時的に契約する条例制定等、対策事業を後押しする事業実施を議論されているか。

答 提案の条例制定については議論したことはないが、現行法令により促進を図ることは可能と考える。

問 今後、急傾斜地以外でも安全対策を施す必要がある場合に、実施できないというケースも出てくる。相続登記を促す施策を実施しているか。

答 法が改正され、相続登記が義務化された。これまで積極的に促してこなかつたが、今後は啓発チラシ配布等の施策を講じ

問 答相続登記がなされていない等で、所有者を特定できない為に着工することが困難なケースは市内にどのくらいあるのか。

答 答筆界が未定で、土地貸借契約が締結できない箇所は1箇所。

問 答固定資産税納付者と将来的な原状復旧を前提に一時的に契約する条例制定等、対策事業を後押しする事業実施を議論されているか。

答 提案の条例制定については議論したことはないが、現行法令により促進を図ることは可能と考える。

問 今後、急傾斜地以外でも安全対策を施す必要がある場合に、実施できないというケースも出てくる。相続登記を促す施策を実施しているか。

答 法が改正され、相続登記が義務化された。これまで積極的に促してこなかつたが、今後は啓発チラシ配布等の施策を講じ



災害から市民を守れ！

西本英輔



▲急傾斜地崩壊対策事業は市民の命と財産を守る事業

問 新型コロナや季節性インフルエンザ等の感染症罹患者はどこに避難するのか。

答 災害発生時に避難が必要となつた場合、本人から連絡してもらい、専用避難所で受け入れることとなつていて。新型コロナ以外も一般の避難所とは別が望ましいが、同一建物の場合は動線を分け、専用スペースやトイレ等の対応が必要。

○医療体制について

問 市内の新型コロナワクチン接種の状況は。

答 9月1日現在、65歳以上の約82・2%の方が2回目のワクチン接種を完了している。9月1日現在、1回以上接種を受けた1万4,825人のうち、65・4%が市内医療機関で個別接種を、34・6%が集団接種会場を利用している。

問 感染者の受入れ先が見つからないという緊急事態に、旧梁瀬医療センターの利用を検討してはどうか。

答 閉鎖して5年が経過しておらず、空調等の大規模改修が必要な上、医療スタッフの確保も非常に困難だと思われる。

問 抗体力クテル療法について。

答 兵庫県では、入院医療機関での投与を基本に推進し、県立加古川医療センターで専門病床30床を確保し、患者への投与を開始すると公表されている。

問 旧梁瀬医療センターを感染



▲旧梁瀬医療センターの活用は

症施設として復活させることはできないか。

答 医療の確保は県が主導して実施しており、但馬管内にも医療体制が整うよう希望している。

○公共施設再配置計画について

問 新型コロナウイルス感染拡大の状況下で住民への告知は。

答 個別施設ごとに今後の方針やスケジュールを説明させていたただく予定。今後の感染状況に十分留意しつつ、必要に応じて、個別に説明会を開催する。



Withコロナに向けての提言

小山 裕



○ライトアップの効果と経費

問 城跡のライトアップに多額の経費を要すなら、時期、時間帯等を検討すべきと考へるが。

答 市観光協会和田山支部が主体で、年間を通じて日没から22時まで点灯、9月から11月は、

加えて早朝4時から5時半まで点灯している。今年度は、11月に特別ライトアップを計画している。現ライトアップ機材は、

劣化が進み6割強が故障しているので改善に向けて検討したい。

答 令和2年度に南千畳の下部分を伐採した。引き続き景観を阻害する樹木伐採を推進したい。

また、登城路脇の大豊堀については、今後、現地を確認して除草作業を検討したい。

○冬季閉山の改善策を

問 冬季閉山について強い要望がある旨伝えていますが、開山あるいは閉山期間の短縮に向けて何か検討は。

答 令和5年度まで実施する工事は、登城者用の通路の確保等が非常に困難な工事なので、令和5年度まで冬季閉山をせざるを得ないと考へている。工事の進捗状況を踏まえながら期間の短縮を含め適宜判断したい。



竹田城跡を取り巻く諸課題

足立 義美



○樹木等管理の一層の推進を

問 樹木等が伐採され、城下からの景観が改善したので、引き続き実施願いたい。また、登城路脇の大豊堀は、貴重なものなので、草刈り等をされたい。



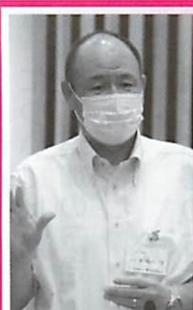
▲雲海の竹田城跡

問 樹木等が伐採され、城下からの景観が改善したので、引き続き実施願いたい。また、登城路脇の大豊堀は、貴重なものなので、草刈り等をされたい。

答 令和2年度に南千畳の下部分を伐採した。引き続き景観を阻害する樹木伐採を推進したい。

また、登城路脇の大豊堀については、今後、現地を確認して除草作業を検討したい。

※他に「コロナワクチンの接種」について質問をしました。

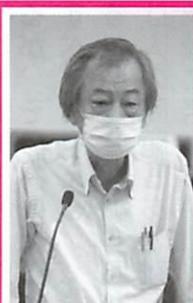


住み良い朝来市を目指して

嵯峨山 博



コロナの封じ込めを
基本戦略に



鈴木 逸朗



○新型コロナウイルスの影響への取組みについて

問 今後の観光についてどのように考えているのか。

答 本市までの移動時間が1から2時間程度の地域をターゲットとした、マイクロツーリズムを推進する。竹田城跡や神子畠選鉱場跡への誘客施策として、夜の魅力創出事業を実施すべく準備をしている。

問 市内交流事業として、市民

向けに市内観光地や農林業の企業など見学を行い、地域への愛着と誇りの醸成が図れるのではないか。

○朝来医療センターについて

問 市民から医療の充実について多くの要望がある。どのように考えているか。

答 総合心療内科の充実や、地域連携病院の機能も強化が必要である。産婦人科、小児科につ



▲豊かな自然を見守る案山子

いても定期検診など派遣について要望を行う。

○条例制定について

問 本市は水の提供源として、

水源地域の機能の維持に寄与しなければならない。水源地域の保全に関する条例を制定すべきではないか。

答 水源地域の保全は重要な課題であり、下流域へきれいな水を見つないでいく責任がある。県や他市町の状況や関係機関の意向を聞きながら、条例制定について調査、研究を行う。

問 市内交流事業として、市民

向けに市内観光地や農林業の企業など見学を行い、地域への愛着と誇りの醸成が図れるのではないか。

○米価下落の不安が募っている

問 持続化給付金の再度実施が必要。次に農家も大変。202

○戦略目標を明確に三つの柱で

問 一つ目の柱はワクチンの安

全、迅速な接種。接種状況は。

答 予約も含め9月末で63・

5%の見込み。

問 しかし、子どもさんや、希望されない方、希望しても接種

できない方は残され、最近では接種者の感染も報道される。二つ目の柱として検査の実施で感染封じ込めが必要。福祉施設や教育、保育の現場など定期的に社会的検査を行うべき。

問 福祉施設や学校等には、検査キットを配布。社会的検査は国や県に要望したい。

問 三つ目の柱は、十分な営業

補償と生活支援。これまでの営業補償の中で、最も好評、効果があつた施策は。

答 市のアンケートで、持続化給付金を87・2%が満足、普通と回答。



▲実りの秋ですが、新型コロナの影響もあって、米価下落の不安に

0年産米の米価は。
JAの買取り価格は、60キロ、13,600円。

問 本年産米の米価見込みは。
同様に12,000円。

問 過剰在庫を政府買上し、困窮する国民に支援すべき。

問 ろで農水省公表の生産経費は15,000円を超え、コメ農家は大多数が赤字。再生産費補うものとしてコメの直接支払交付金の復活の検討を。

答 約7千万円かかる。市単独の実施は厳しい。

問 約7千万円かかる。市単独の実施は厳しい。

誰一人置き去りに
しないまちに！



上田 幸広



藤岡市政に望むこと

森下 恒夫



○ヤングケアラーについて

本来、大人が行う家事や介護などの家族の世話を日常的に行っている子どもをヤングケアラーと呼び社会問題化している朝来市における現状は。

答 民生委員、児童委員が把握しているケースは無いが、今後ヤングケアラーについて現状や問題の把握に取組んでいく。

問 教育委員会の取組みは。

答 スクールソーシャルワーカーによる支援体制を生かせるよう教職員の認識を深めたい。

○がん検診について

問 以前提案した「胃がんリスク検診」「腫瘍マーカー検査」のその後の対応は。

答 「胃がんリスク検診」について導入に向け検討、調整を行っている。「腫瘍マーカー検査」については前立腺がん検診以外、追加の予定はない。

○電話リレーサービスについて

問 聴覚障害の方と健常者の



▲情報バリアフリーが大きく前進

方の会話をスマホのビデオ機能を利用してオペレーターが手話や文字で仲介する「電話リレーサービス」の運用が7月から

公共インフラとして開始された。朝来市民への周知方法は。広報紙やホームページにより周知し、市民の理解や協力が得られるよう努める。

○マンホールカードについて

問 観光施策として観光名所や特産品をデザインしたマンホールカードを作成してはどうか。答 市内への誘客促進に繋がるか調査、研究をして参りたい。

○所信表明について

問 儲ける農業の対象作物と支援体制は。

答 特産振興作物である岩津ネギ、黒大豆、ピーマンの他、新品种のひかり姫に力を入れたい。支援体制は、出口戦略と農家のグループ化を考えている。

問 生産高、販売高は米が断然多い。儲ける方法は。

答 米は優良農地の62%を占めており、生産額を上げるにはブランド化や有機農法を採用し付加価値を上げる必要がある。

問 元気な地域経済ということだが、自治体経営を進める上で最も重要なことと考える。

答 経済の実態を知る為に、域内のGDPを把握する必要があるが、その為に調査部門を強化すべきと考える。

○市の将来の危機について

問 若者の都市への流失に歯止めがかかるず、人口減少、高齢化が進んでいる。雇用、事業継承が困難となる。地域コミュニティの維持も同様である。

答 商工会の調査でも会員の3割が、事業継承が問題とされている。雇用も含め大きな問題だ。

問 全ての問題の根源は、跡継ぎの慣習が崩れたことにある。若者定着の政策を考えるべき。

答 市に定着の若者の支援、Uターン政策を研究、検討する。



▲草刈り作業の負担はいかばかりか？

○市長の所信表明について

問 経済の実態を知る為に、域内のGDPを把握する必要があるが、その為に調査部門を強化すべきと考える。

答 必要と認識するが、早速に人の問題もあり難しい。実態把握に努める。



森下 恒夫



○地域「ミニユ二ティ」の進化を

過疎化、高齢化が進む地域
コミュニティの課題は。

答 これから時代、地域活動の中心である60代70代に加え、若い世代の参画も得て、各世代の意見を反映した地域づくりを進めることが大切なポイント。

問 移住者受け入れの取り組みへの支援も必要。

答 移住希望者や空き家等の情報提供と、地域の有効な取り組みについて情報発信する。

問 子どもたちと地域の関わりも大切。積極的に進めるべき。

答 小学校、中学校において特色ある学校づくり事業として地域の人々、自然や伝統文化に触れる体験教育をしている。ふるさとを知り、ふるさとに誇りと愛着を持つことにつながる。子どもたちが将来この地域コミュニティの担い手となつてくことを信じている。

問 地域コミュニティに属していない市民に支援を。若い世代



元気な地域が
朝来市の未来を創る

藤本邦彦



▲若い世代がまちづくりについて語り合う「あさご未来会議」の様子

問 総合計画に市長の方針は色濃く織り込まれているか。

答 35施策の中にその思いを盛り込んでいる。

問 「市民の幸せ」の姿を、わかりやすく伝えるためのアクションプランについて尋ねる。

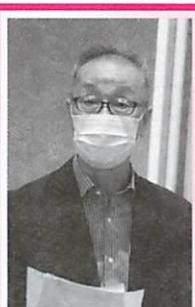
答 あさご未来会議やまちづくりフォーラム等で、市民と対話をしながら、若者たちの活動発信の場というものが確保できないかなど調査、研究する。

問 計画の推進には、職員のモチベーション、幸福感（ウエルビーイング）の向上が必要だ。

答 職員のライフワークバランスと組織内コミュニケーションの充実など、活力と意欲にあふれた職員集団の実現を図る。

問 市民の幸運を演出するのは市長であり、リーダーとしてその手腕をどのように發揮するか。

答 市民との対話を通して、市民と一緒に進めていく。



朝来の活力ある
まちづくりを拓く

森田龍司



○第3次朝来市総合計画

農業、高品質で高収量が可能な生産体制の確立を目指す。

問 農地リース方式の見直しと企業参入、高品質のコメを安く消費者に提供する、農地管理システムの確立の3点をコメ農業戦略として検討できるか。

答 農地の集約、集積、新規就農者等の育成も重要な戦略。

問 農業戦略プランの見直しと農業戦略として取組む。

答 朝来米のブランド化は、米のブランド化は生産者の所得向上を目指す上で欠かせない。農業振興の柱として取組む。



▲朝来米のブランド化を目指して

○コメ農業の戦略について

農業戦略プランの見直しと水稻の出口戦略の市長の考えは。

12月定例会の予定

月	火	水	木	金
11/29	30	12/1	2	3
本会議		本会議		
6	7	8	9	10
		一般質問	一般質問	
13	14	15	16	17
一般質問	文教民生 常任委員会	産業建設 常任委員会	総務 常任委員会	文教民生 常任委員会
20	21	22	23	24
産業建設 常任委員会		総務 常任委員会		予算決算 特別委員会
27	28	29	30	31
本会議				

傍聴など、お問い合わせは
議会事務局 **TEL 672-1930**

議会運営委員会による発議

「議会会議規則」の一部改正を可決

議会運営委員会は、議会会議規則の一部を改正するよう9月2日に発議し、全会一致で可決しました。

改正の内容は、議案審査又は議会運営に関し協議又は調整を行うための場として、各常任委員会の所管に属する事項の報告と調整を行う常任委員会協議会を新たに設けるものです。

この規則は、公布の日から施行します。

高校生議会の動画配信について

令和3年8月5日に開催しました『朝来市議会100回記念事業・高校生議会』の様子をYouTubeでご覧いただけます。

朝来市議会ホームページのトップページから、「高校生議会」をタップしてご覧ください。

4年間、ありがとうございました

平成29年11月からの4年間、市民の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。皆様からの負託に応えるため、私たちは日々、議員活動にまい進してきました。この度、無事に任期満了を迎えたのは、皆さまからのご支援のおかげです。

11月からは新しい議会、議員体制となります。今後とも、変わらずご支援いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

